

心をひろく

第 28 号

平成 30 年度 人権センターまつり

10月6日、中野市人権センターと中央公民館を会場に人権センターまつりを開催しました。人権センター会場では、中野・豊田人権センターの各講座の作品やセンターを利用されている皆さんの作品展示と人権啓発DVDの上映を行いました。

中央公民館会場では、平成29年度小中学生人権啓発ポスターの紹介と、俳優の水澤心吾さんの講演会を行いました。



▲人権センター利用者の作品展示の様子



▲人権センターまつりでは、子どもが折り紙の作品に興味津々に見ていました。



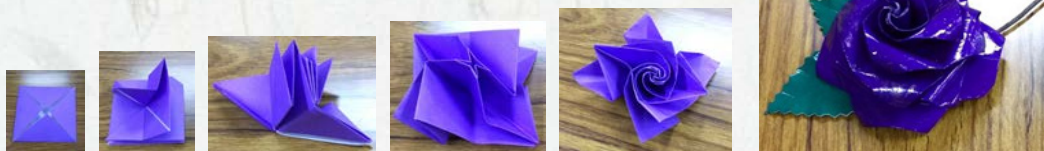
みさわしんご
水澤心吾さんの講演会

水澤心吾さんの「決断 命のビザ ～SEMPO 杉原千畝物語～」と題した講演。杉原千畝さんの、自身と家族の命を懸けた決断や生き方をお芝居を交えて話しました。

「生き生きと生きるコツは愛のエネルギーを大きく育て、目的をもって生きること。希望を持っていただきたい」と水澤さんの熱い想いを会場に訪れた皆さんに語りました。

折り紙教室

この教室では、バラなどの折り紙を作成します。脳のトレーニングにもなりますので、機会があれば参加してみてください。



一人ひとりの声は、 身近な誰かに確かに届いているでしょうか？

顔を合わせて語り合う ～区・分館人権教育懇談会～

各区・分館で人権教育懇談会を積極的に開催しています。地区役員の皆さんの思いの詰まった懇談会。「少数派が、未来の多数派になるように、できるだけ小さな努力を重ねながら生きてゆくのが良い」という言葉が浮かんできます。

人権の各課題（同和問題・女性・高齢者・障がいのある人・子ども・外国人など）を懇談のテーマに取り上げ、講師を囲んで話したりします。一人一発言やグループ懇談など、直接顔を合わせての懇談会の進め方は回を重ねるごとに地区の独自性が加わります。率直に交わされる意見や質疑などに目を開かされる思いです。



▲区・分館人権教育懇談会の様子



※「レズビアン」(女性同性愛者)、「ゲイ」(男性同性愛者)、「バイセクシャル」(両性愛者)、「トランスジェンダー」(出生時に診断された性と自認する性の不一致)の頭文字をとり、セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)の一部の人々を指した総称。LGBTコミュニティの多様性を表すものとして「レインボーフラッグ」が使われている。

懇談会などで主に活用している人権啓発DVD「カラフル」。この作品で触れられている「性的少数者(*LGBT)」という人は「13人に1人」と言われています。これは統計上の左利きの人と同じ数字です。決して少数とは言えないのです。

「男らしく」「女らしく」から「自分らしく」「あなたらしく」へ。お互いを認め合える人権のまちづくりを進める一人として、懇談会で皆さんが取り組んでいただいているように、まずは知ることから一歩進め、できることをできるところから行動に移していきたいものです。

北朝鮮人権侵害問題啓発週間

12月10日(月)～16日(日)の一週間は「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です。個別の人権課題の中に「北朝鮮当局による拉致問題等」と法律にあります。

拉致問題は、我が国喫緊の国民的課題であり、この解決を始めたとする北朝鮮当局による人権侵害問題について、国民が関心と認識を深め、国際社会と連携しつつ実態解明に取り組んでいくことが大切です。

～企業会員の募集～

中野市企業人権教育推進協議会

自社の人権研修や「差別をなくす市民集会」などの集会の共催や参加を通じて、社員の人権意識の高揚を図り、「人権のまちづくり」を市と共に行います。未加入の市内の企業や事業主の皆さまは、ぜひ加入をご検討ください。企業の立場から、人権のまちづくり・人権教育推進活動と一緒にしましょう。現在は、市内72企業が加入しています。加入については中野市人権センターまでお問い合わせください。

